

広域連携の本格稼働と波及効果（鹿児島県奄美大島）

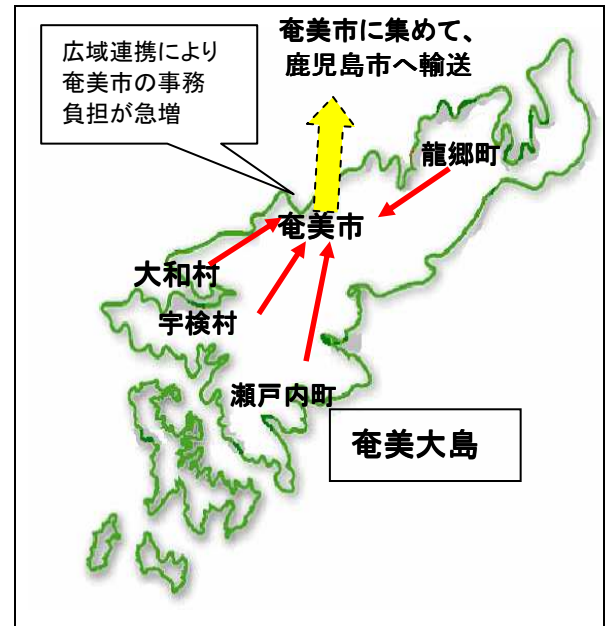
<背景>

広域連携により搬出業務の効率化を図るべく、積み出し港を奄美市名瀬港に集約した結果、支援申請が奄美市に集中*

→奄美市の事務負担が急増

〔 *奄美大島 保有台数 :約3万8千台
年間廃車予定台数 :約6.4千台 〕

⇒ 奄美市の事務負担適正化に向けた調整が急務



島内全市町村による
事務費按分化

<実施事項>

自動車リサイクル促進協議会を設立

- ・全国で初めて使用済自動車の島外搬出処理の円滑化を目的とした協議会設立
- ・申請窓口を一本化 → 受付事務の簡素化と軽減
- ・5市町村の負担金による協議会運営 → 事務負担の分散(奄美市の負担を適正化)

<波及効果>

徳之島において広域連携の検討開始

- H18. 2 当部現地訪問の際に、好事例として奄美大島の取り組みを紹介
- ・ 3 **徳之島の3町**で事務の広域連携(一本化)に関する**検討開始**
 - ・ 4 町担当者の**異動**により仕切りなおし(現在継続検討中)